

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

***Comet Honda(1968e)の Plate & Film (Honda & Seki 彗星) 収蔵**

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台の旧図書館(昭和5年(1930年)建設)の1階に保管されている古い天体写真乾板等の整理を進めている。この作業の一環の中から昭和20年2月の本館消失で失われたと思われていた100年以上前に撮影された写真乾板が発見され、日本人最初の小惑星発見の写真乾板が出てくるという大発見もあった。天体写真乾板の整理は佐々木君、大島君が進めており、筆者はこの物置状態の棚から確たる資料とも思えない雑物の整理を引き受けている。今回は Comet Honda(1968e)と書かれた箱(写真1)の中の乾板、フィルムを収蔵した。

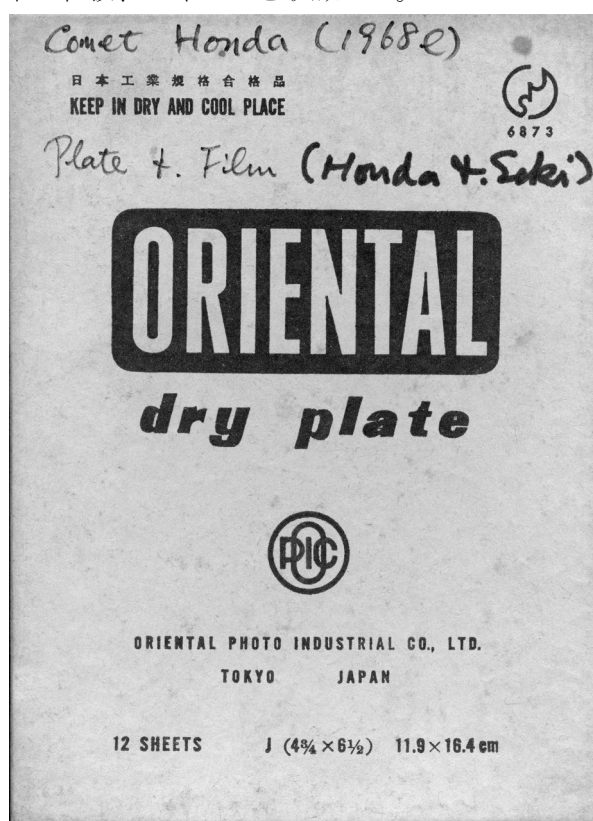


写真1 今回整理の箱

この箱には、乾板が2枚、フィルムが1枚、メモ書きが1枚入っていた。

- 1) 乾板1 : 1968. 8. 31 04:06:00-04:17:00 $\alpha : 6\text{h}2\text{m}$, $\delta : -6^\circ$
- 2) 乾板2 : 彗星 1968e 1968. 9. 1 04:13-04:25:00
- 3) フィルム : 1968. 8. 31 $\alpha : 6\text{h}2\text{m}$, $\delta : -6^\circ$
- 4) メモ書き (写真5)

以下に1)、2)、3)の乾板の入っていた袋のメモ書き、フィルムに書かれたメモ書

きを写真2、写真3、写真4に示す。

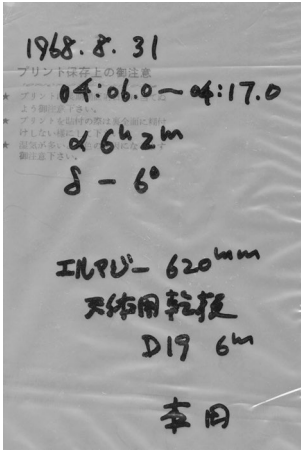


写真2

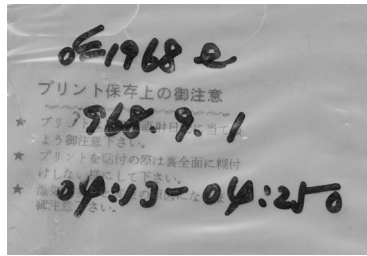


写真3

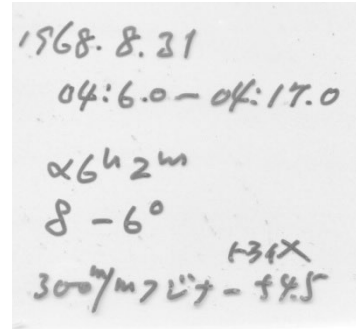


写真4

5) のメモが写真5である。

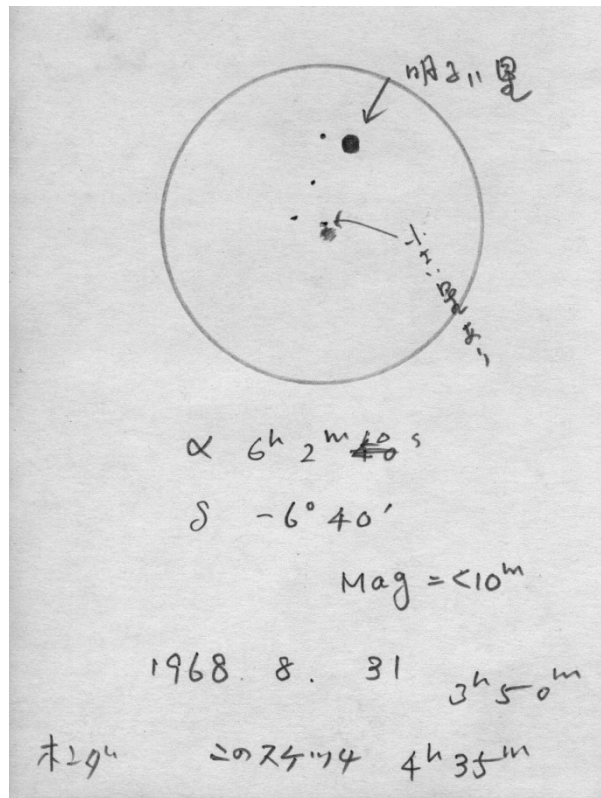


写真5 メモ書き

これらは、メモ書きの様子から、本田さんが自分の観測した彗星について東京天文台に報告したものである。これらの乾板をスキャンしてデジタルデータとして取り込んだ。写真6が1968年8月31日撮影の乾板である。この乾板は写真に見るように非常に大きなムラがある。メモ書きのある関係部分を拡大したものが写真7である。写真7の彗星の位置を表す位置に確かに淡い彗星状のものが写っている。



写真6 1968年8月31日の乾板

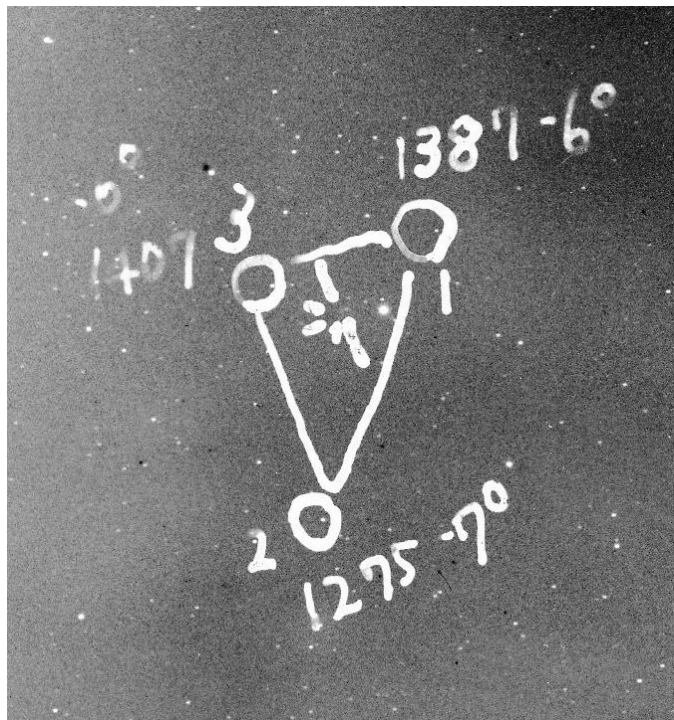


写真7 写真6の拡大

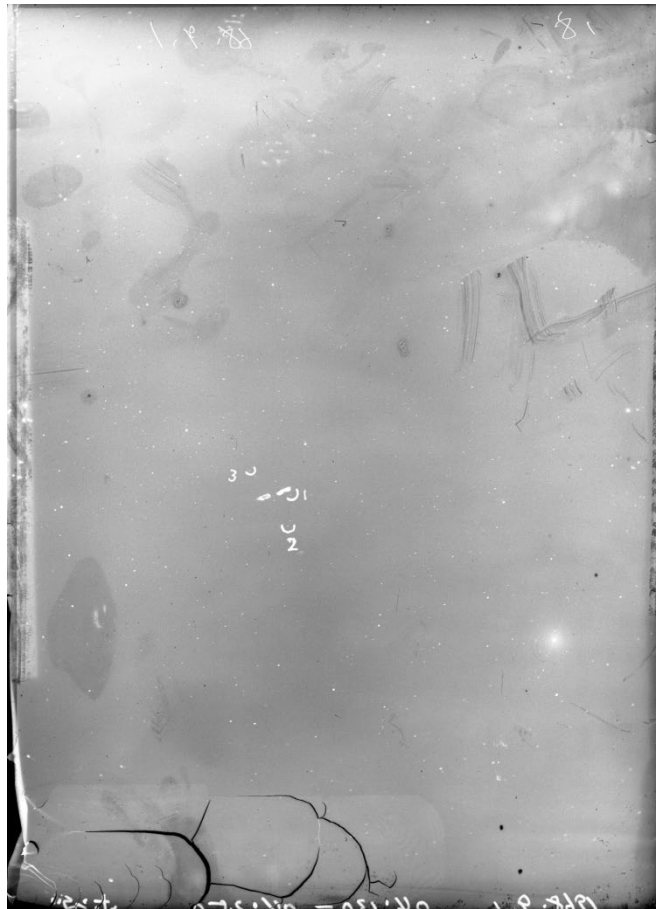


写真8 1968年9月1日の乾板

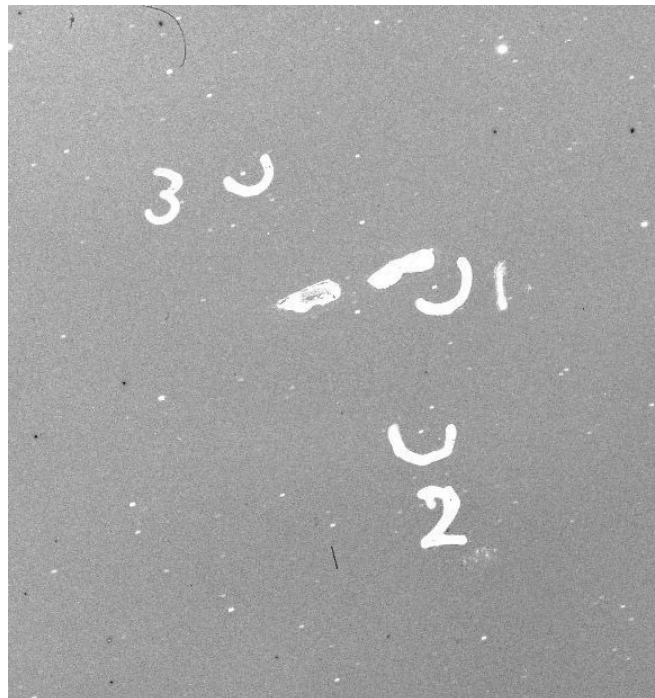


写真9 写真8の拡大

写真8が1968年9月1日に撮影された乾板、写真9が写真8のメモ部分を拡大したものである。これで彗星を発見するというのは驚きの一語に尽きる思いである。

写真10はフィルムの像である。写真11はそのメモ部分の拡大である。



写真10 フィルムの像

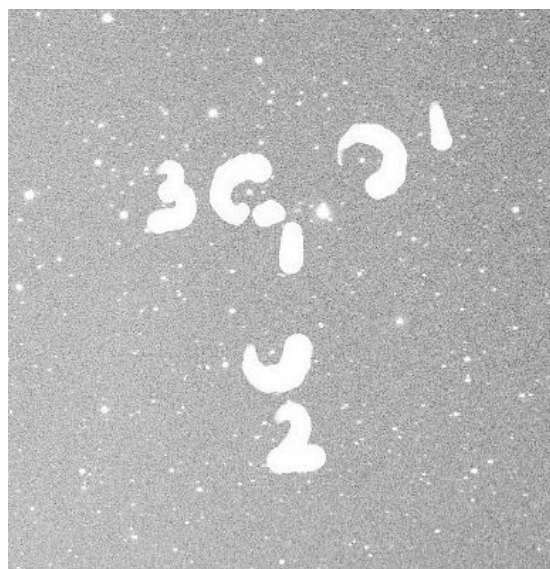


写真11 写真10の拡大

これらは、新天体発見の対応業務に寄せられた生データの保存されたものと思うが、こういったデータがどのように保管されてきたか分かってくるのかもしれない。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp